

すい臓がんは発見や診断が難しく、全てのがんの中でも生存率の低い難治性のがんとして知られ、がんによる死亡数の順位も4位となっています。しかし、早い段階で診断できれば、比較的治療成績が良いと言われています。

そこで、横浜市ではすい臓がんを早期に発見して治療につなげる「すい臓がん早期診断プロジェクト」が行われています。

今回の講演会では、すい臓がんや早期発見のための危険因子等、医師から詳しく解説します。

## <次第>

時間	内容
14時30分	開場
15時00分	開講挨拶(横浜市医療局)
15時05分	講演1「すい臓、すい臓がんについて」 横浜市立大学医学部教授 附属病院内視鏡センター長 窪田 賢輔氏
15時40分	休憩
15時45分	講演2「横浜市すい臓がん早期診断プロジェクトについて」 社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川県済生会横浜市東部病院 消化器外科部長 西山 亮氏
16時20分	休憩
16時30分	講演3「検査について(超音波内視鏡など)」 公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター内科講師 三輪 治生氏
17時05分	質疑応答



すい ぞう  
**膵臓がん**は  
**早期診断**が大切です  
⚠️ **危険因子**があったら  
迷わずかかりつけ医に相談しましょう

**膵臓がんの危険因子**  
家族歴\*1、糖尿病の新規発症・増悪、慢性膵炎、膵のう胞、飲酒習慣、喫煙、肥満\*2  
\*1 膵臓がんにかかった血縁者がいる人。 \*2 BMI30以上、過去に肥満であった人を含む。



## <事務局>

担当：横浜市医療局がん・疾病対策課

〒231-0005

横浜市中区本町 6-50-10

電話：045-671-2721

Eメール：ir-shinsei@city.yokohama.lg.jp